

翔ろ!陽の光に向かって

翔陽

学校教育目標 「豊かな心で たくましく 意欲をもって 希望(ゆめ)を叶えよ」
今年度スローガン 「揺るぎない翔陽プライドの確立」



帯広市立翔陽中学校 学校だより

令和6年12月2日

第12号

発行者

校長 今野 典之



令和6年度全国学力・学習状況調査の本校の概要

4月18日に、3年生を対象に国語・数学の2教科および生徒質問調査（アンケート）の内容で全国学力・学習状況調査が実施されました。

先日管内の結果が公表されましたので、本校の概要についてお知らせいたします。

【国語】全道平均・全国平均を大きく上回っている。

〈よかったところ〉

- 漢字の書き取り、文脈に即した漢字を書く。
- 説明文や物語など、文脈を捉え内容を理解する。

〈これからの課題〉

- ▲文章と図とを結び付けて、その関係を踏まえて内容を解釈する。
- ▲短歌に用いられている表現技法や短歌の内容について描写を基に捉える。

【数学】全道平均・全国平均を大きく上回っている。

〈よかったところ〉

- 基礎基本を問う問題の正答率が高い。
- ・「図形の移動」や「確率」「グラフの読み取り」

〈これからの課題〉

- ▲文字を用いた式で数量関係を表現する。
- ▲事柄が成り立つことを文字を使って説明する。
- ▲事象から関数関係を見出し、数学的に処理し、問題解決の方法について説明する。

【生徒質問】

〈全道・全国を大きく上回っている主な質問〉

- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っているか。
- 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てているか。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うか。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか。
- 人の役に立つ人間になりたいと思うか。
- 学級の生徒と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができているか。
- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいるか。

〈全道・全国を下回っている質問〉

- ▲1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用したか。
 - ・楽しみながら学習を進めることができる
 - ・自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる
 - ・友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる
- ▲1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたか。
- ▲学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができているか。

結果の分析から

本校の学力については、引き続き良好な状態にあると思います。しかし、課題については克服を図り、更なる向上を目指していきたいと考えています。

【国語の改善の方策】

- ・観点に沿って比較、分類、関係付けする活動の充実を図る。
- ・言葉を手掛かりにしながら文脈をたどることができるように、言葉の特徴や使い方に関する知識技能の定着を図る。

【数学の改善の方策】

- ・毎時間の復習問題に取り組む時間の確保、ICTを活用して復習プリントの配信をするなどの工夫を行う。
- ・授業において説明する場面を位置付ける。「事柄・事実の説明」「方法・手順の説明」「理由の説明」

【全教科を通じての方策】

- ①学習内容を着実に定着させる～復習、学び直し、ICTの活用、家庭学習
- ②説明したり自分の考えを表現したりする活動～作文活動、考察や説明場面の設定、活用問題への取組
- ③生徒指導の4つの視点を生かした学習スタイルの確立～自己決定、自己存在感、共感的な人間関係、安心安全な風土
- ④更なる高みを目指して～授業アンケートや学校評価の結果を分析し、確実に改善を進める。

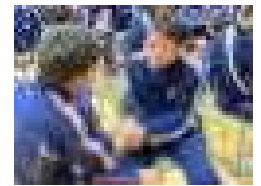
翔陽中学校ホームページにも今回の全国学力・学習状況調査の結果を掲載しています。その他、部活動の大会結果や行事、学校生活の様子（写真あり）など、本校のことをわかりやすく紹介していますので、是非ご覧ください。内容については、随時、更新しています！ →



自己肯定感の向上・コミュニケーション力の向上を目指して

NPO法人日本ピーススマイル協会出前授業および教育講演会を実施しました

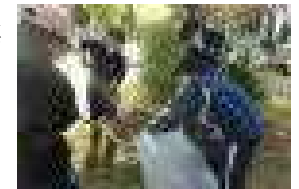
10月21(月)・22日(火)に東京のNPO法人日本ピーススマイル協会・代表理事である越智 創さんを講師に迎え、「自己肯定感とコミュニケーション力を養う」出前授業を行いました。自分の価値や可能性を知ること、しかし自分のことは自分ではわかりづらい、だから「認める」「ほめる」「感謝する」「励ます」という気持ちを伝え合うことが大切であるということ学びました。自分と他者の大切さ、他者を思いやる心、それがコミュニケーションにつながり、自己肯定感が育まれます。自己肯定感自分だけではなく、他者との相互作用の中で向上していくものだということがわかりました。自尊感情と他尊感情のバランスが大切だと思います。子どもたちが笑顔で楽しそうに学ぶことができた体感型ワークショップ授業でした。また、越智さんを講師として「子どもの自己肯定感が向上する子育て」をテーマに翔陽中エリアファミリー教育講演会を行いました。自己肯定感にもいろいろあり、Being的自己肯定感(その子の存在そのもの)と、Doing的自己肯定感(その子がすること)があること、大切なのはBeing的自己肯定感であり、褒め合い、認め合う体験が重要であるということでした。子どもも大人も学びの多い2日間となりました。



子どもも大人も学びの多い2日間となりました。

落ち葉ゴミ拾いボランティア

生徒会の呼びかけでボランティアを募り、10月25～30日にわたり、校舎周りの落ち葉ゴミ拾いを行いました。夏には、校舎周りを緑で彩り、心地よい木陰やリスが駆け回り目を楽しませてくれた学校樹木。そのような豊かな自然に感謝し、自分たちが生活している学校の環境をきれいにしようと参加してくれたみなさんに感謝します。大量の落葉を集めながらきれいになっていく校舎周り。全員で心地よい汗を流しました。同時に、いつも1人で落葉清掃をしていただいている校務員さんの大変さに、あらためて感謝を感じることもできました。お疲れ様でした。

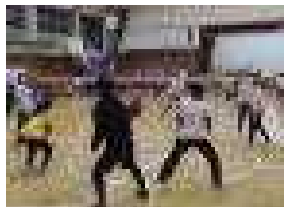


PTA活動も頑張ってます!

先生と保護者のコミュニケーションが増えることにより、互いの理解が進み、信頼関係が築けるのだと思います。子どもの健全育成という大仕事を成し遂げるためには、先生方と保護者の信頼関係をもとにした協働が不可欠です。ぜひ、学校に集う機会があるときには積極的に参加し、先生方とコミュニケーションを図り、楽しい時間を過ごしていただきたいと思います。

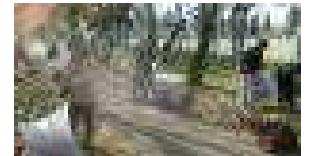
ミニバレー大会

11月8日(金)に社会部主催で行われました。保護者の歓声が体育館に響きわたり、数多くの好プレー、珍プレーがあり、とても楽しい時間を過ごすことができました。社会部のみなさん、ありがとうございました。



秋の環境整備作業

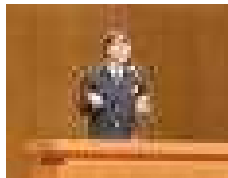
10月26日(土)に事業部の環境整備を行いました。子どもたち同様、落ち葉収集、花壇の片付けを行いました。子どもたちのグリーンクラブも一緒に約1時間、みなさんで会話を楽しみながら、いい汗を流し、作業をしました。事業部のみなさん、ありがとうございました。



翔陽中の代表として立派な発表でした

帯広市英語スピーチ・暗唱大会 東原侑夏さん

10月16日(水)に上記の大会がありました。東原さんは自分の卓球部での経験で得たことを、ジェスチャーを交え、堂々と発表してくれました。残念ながら入賞はなりましたが、とても立派な発表でした。お疲れ様でした。



帯広市中学生からのメッセージ 佐々木菜都さん

11月9日(土)に上記の大会がありました。佐々木さんの発表は、学年予選、校内予選よりも内容、態度とも更に成長を感じさせるものでした。見事優秀賞を獲得しました。思いが伝わってくる立派な発表でした。お疲れ様でした。



12月の行事予定

- 4日(水) 2年SDGs出前講座
- 5日(木) 3年学年末テスト(～6日)
- 8日(日) 全道新人バドミントン十勝地区予選
- 9日(月) コミュニティ・スクール協議会
- 10日(火) 高校生インターンシップ(～11日)
- 12日(木) 標準学力検査(2年)
- 13日(金) 授業参観・懇談会
- 16日(月) 帯広市PTA連合会翔陽中グループ会議
- 17日(火) 食育指導(3年)
- 24日(火) 終業式
- 25日(水) はばたき学習クラブ(～27日)(26日は実験教室)

翔陽中の活躍

＜夏休み児童・生徒書道展＞
 奨励賞 3年 三宅菜々香
 入選 3年 宮部 美咲
 入選 1年 高道 実旺

＜スピードスケート＞

◇全十勝中学スケート選手権
 女子スプリント部門
 2年 松田 華 7位

学校だより「翔陽」の楽メでの配信について

今号を試験的に保護者のみなさんには「楽メ」でも配信しました。支障がなければ、今後は楽メの配信のみを考えています。ご意見等があればお寄せください。